

令和 8 年 6 月 2 6 日	病害虫発生予報 7 月 号	茨城県病害虫防除所
---------------------	------------------	-----------

果樹共通

1. 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
—	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 6 月下旬現在、被害果率（本年値 0%、平年値 0.02%）、発生地点率（本年値 0%、平年値 6%）ともに平年並～やや低い。
- ② 6 月第 3 半旬までのかすみがうら市の果樹園内に設置した予察灯への果樹カメムシ類の総誘殺数（本年値 1,671 頭、平年値 326 頭）は平年より多い。
- ③ 6 月第 3 半旬までの笠間市の果樹園内に設置した予察灯への果樹カメムシ類の総誘殺数（本年値 428 頭、平年値 685 頭）は平年並である。

[防除上注意すべき事項]

- ① カメムシ類の園内への侵入を防ぐため、多目的防災網（目合い 6mm または 9mm クロス等のネット）やサイドネットに破れがないか点検を行い、必要に応じて補修する。
- ② カメムシ類は夜温が高くなると活動が活発になり、果樹園に飛来する。果樹園内でカメムシ類を確認した場合は、活動の鈍い早朝に薬剤防除を行う。

カメムシ類の発生時期や発生量は地域や圃場によって異なるため、定期的に圃場全体を観察し、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。

ナ シ

1. 黒星病

[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
—	平年並～やや少ない	県下全域

[予報の根拠]

- ① 6 月下旬現在、発病葉率（本年値 0.2%、平年値 0.7%）、発生地点率（本年値 20%、平年値 51%）ともに平年より低い。
- ② 6 月下旬現在、発病果率（本年値 0.1%、平年値 0.3%）は平年並～やや低く、発生地点率（本年値 15%、平年値 34%）は平年よりやや低い。
- ③ 気象予報によると、向こう 1 か月の降水量は平年より多いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

- ① 発病した葉および果実等は二次伝染源となるため見つけ次第除去し、園外に持ち出して適切

に処分する。

- ② 薬剤散布は、発病部位を除去した後に行うとより効果的である。
- ③ 薬剤は、10a 当たり 300 リットルを目安に丁寧に散布する。圃場の周縁部等、薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布等により補正散布を行う。

2. ナシヒメシンクイ（第三世代幼虫）

[予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
—	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 6 月下旬現在、被害果を認めず平年並である。
- ② 6 月第 3 半旬までのフェロモントラップへの総誘殺数は、笠間市、小美玉市で平年より多く、筑西市（下館地域）では平年並～やや多く、筑西市（関城地域）、土浦市では平年並、かすみがうら市では平年並～やや少ない。

[防除上注意すべき事項]

- ① 被害果実を見つけた場合は、速やかに処分し、成虫の発生を防ぐ。
- ② 薬剤は、10a 当たり 300 リットルを目安に丁寧に散布する。圃場の周縁部等、薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布等により補正散布を行う。

（次ページ、防除所レポート参照）

防除所レポート【ナシヒメシンクイの防除適期の予測】

- ① ナシヒメシンクイ第三世代幼虫を対象とした防除適期は、第二世代成虫の誘殺数がピークに達した日の 1～2 日後である。
- ② 各地点の第二世代成虫の誘殺最盛期は、第一世代成虫のフェロモントラップへの誘殺最盛期と有効積算温度から予測した。
- ③ 表中のかすみがうら市、土浦市、筑西市（下館地域）については、今後、病害虫防除所ホームページで誘殺状況を随時更新するので参考にする。

表 調査圃場におけるナシヒメシンクイ第三世代幼虫の予測防除適期

地点	第三世代幼虫の予測防除適期 ¹⁾	
笠間市	7 月 16 日	7 月 19 日
小美玉市	7 月 10 日	7 月 14 日
かすみがうら市	7 月 9 日	7 月 12 日
土浦市	7 月 12 日	7 月 15 日
筑西市（下館地域）	7 月 2 日	7 月 8 日
筑西市（関城地域）	7 月 11 日	7 月 14 日

1) 第二世代成虫の誘殺最盛期を基に予測した（6 月 26 日現在）。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予測	発生概況および注意すべき事項
ナシ	ハダニ類	発生量：平年並	6 月下旬現在、平年並の発生である。今後は気温の上昇に伴って増殖が速くなるので、発生圃場では速やかに防除を実施する。
ブドウ	晩腐病	発生量：平年並	6 月下旬現在、平年並の発生である。参考防除例を参考に、袋掛け前の防除を徹底する。
	褐斑病		
	黒とう病		
	べと病		